

# 子育て支援に関するアンケート調査

## 【調査の趣旨とご協力のお願い】

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、安曇野市では、『安曇野市子ども・子育て支援事業計画（平成27年～31年）』を策定し、子育て支援施策を推進しております。

このたび、この計画の期間満了に伴い、『第2次安曇野市子ども・子育て支援事業計画』を策定することとなり、計画の策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の量の見込みの算出や質の状況を把握するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などに関する調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいで就学前のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から無作為に選び、そのご家庭に調査票を送らせていただきました。

調査票のページ数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、皆様には調査の趣旨をご理解いただき、最後までのご回答にご協力をお願いいたします。

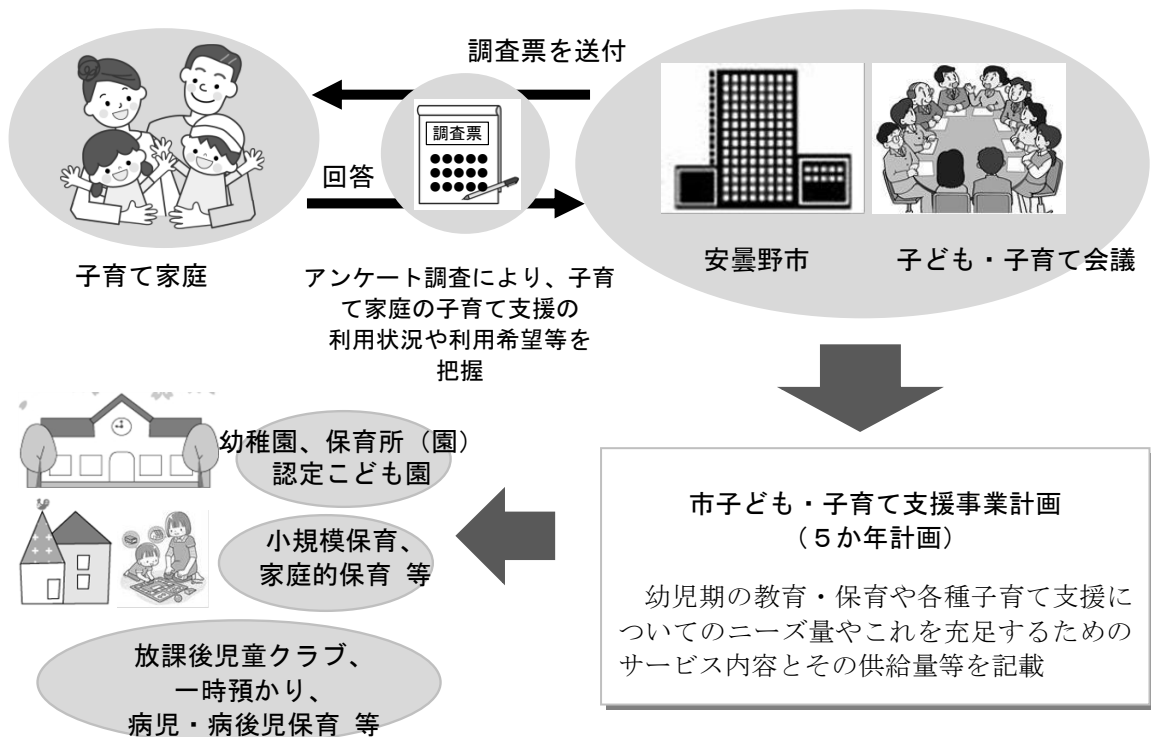
平成30年12月

安曇野市

## ※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかかけがえない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。  
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. 豊科 | 2. 穂高 | 3. 三郷 |
| 4. 堀金 | 5. 明科 |       |

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。( ) 内に数字でご記入ください。

平成( )年( )月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を( ) 内にご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数( )人 末子の生年月 平成( )年( )月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他( ) |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育※を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親   | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他( ) |         |

※教育とは、家庭での教育を含めた広い意味で用いています。

問7 世帯のおおよその年収※(税金と社会保険料などを引いた総額)について当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 無収入          | 2. 1~50万円未満     | 3. 50~100万円未満   |
| 4. 100~150万円未満  | 5. 150~200万円未満  | 6. 200~250万円未満  |
| 7. 250~300万円未満  | 8. 300~400万円未満  | 9. 400~500万円未満  |
| 10. 500~600万円未満 | 11. 600~700万円未満 | 12. 700~800万円未満 |
| 13. 800~900万円未満 | 14. 900万円以上     | 15. わからない       |

※年収には、給料やボーナスのほか、農業収入や不動産収入、株式などの副収入も含まれます。

※児童手当、就学援助、生活保護などの公的な援助や手当、離婚後の養育費は除きます。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 8 宛名のお子さんは、夜何時ごろに就寝していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 20 時前       | 2. 20 時～21 時の間 | 3. 21 時～22 時の間 |
| 4. 22 時～23 時の間 | 5. 23 時～24 時の間 | 6. 24 時以降      |

問 9 宛名のお子さんは、1日3食、食べていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |             |                    |               |
|-------------|--------------------|---------------|
| 1. 毎日食べる    | 2. 週に3、4日は食べる      | 3. 週に1、2日は食べる |
| 4. 月に数回は食べる | 5. 食べないまたはほとんど食べない | 6. その他 ( )    |

問 10 宛名のお子さんは、普段、子どもだけでごはんを食べることがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |            |              |            |
|------------|--------------|------------|
| 1. ほぼ毎回である | 2. 週に3、4日はある | 3. 月に数回はある |
| 4. まれにある   | 5. まったくない    |            |

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- |           |            |        |
|-----------|------------|--------|
| 1. 父母ともに  | 2. 母親      | 3. 父親  |
| 4. 祖父母    | 5. 幼稚園     | 6. 保育園 |
| 7. 認定こども園 | 8. その他 ( ) |        |

問 12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境 すべて に○をつけてください。

- |        |           |            |
|--------|-----------|------------|
| 1. 家庭  | 2. 地域     | 3. 幼稚園     |
| 4. 保育園 | 5. 認定こども園 | 6. その他 ( ) |

問 13 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- |                                    |              |
|------------------------------------|--------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } 【問 13-1 へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |              |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } 【問 13-2 へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |              |
| 5. いずれもない ---▶ 【問 14 へ】            |              |

問 13 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である                           |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                      |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある                 |
| 6. その他 ( )  |





(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |   |            |
|---|------------|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、<br/>育休・介護休業中ではない</li><li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、<br/>育休・介護休業中である</li><li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、<br/>育休・介護休業中ではない</li><li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、<br/>育休・介護休業中である</li><li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li><li>6. これまで就労したことがない</li></ol> | 【(2) - 1へ】 |
|   | 【問19へ】     |

(2) で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(2) - 1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
( ) 内に数字でご記入ください。

1週当たり ( ) 日                      1日当たり ( ) 時間 ( ) 分

(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、「8時~18時」のように、24時間制で記入してください。

家を出る時刻 ( ) 時 ( ) 分              帰宅時刻 ( ) 時 ( ) 分

問17の(1)または(2)で「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問19へお進みください。

問18 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望</li><li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol> |
|--|

(2) 父親

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある</li><li>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない</li><li>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望</li><li>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい</li></ol> |
|--|

問 17 の (1) または (2) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 20 へお進みください。

問 19 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1つ に○をつけ、該当する ( ) 内には数字でご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが ( ) 歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)

→1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが ( ) 歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)

→1週当たり ( ) 日 1日当たり ( ) 時間

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。**

「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や認定こども園など、問 20-1 に示した事業が含まれます。

問 20 宛名のお子さんは現在、幼稚園や認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 利用している

---

▶ **【問 20-1 へ】**

2. 利用していない

---

▶ **【問 20-6 へ】**

この設問から問 20-5 までは、問 20 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)

2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)

4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6~19 人のもの)

6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業)

7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)

8. その他の認可外の保育施設

9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)

11. その他 ( )



問 20-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。  
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週間当たり何日、1日当たり何時間  
利用するかを、( ) 内に数字でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり( )日 1日当たり( )時間( )分 ( )時( )分～( )時( )分

(2) 希望

1週当たり( )日 1日当たり( )時間( )分 ( )時( )分～( )時( )分

問 20-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について、いずれかに○をつけてください。

1. 安曇野市内 2. 他の市町村

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。

問 20-4 主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、「2～6」は該当する  
父母に○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている(父・母)が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている(父・母)が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている(父・母)が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている(父・母)が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている(父・母)が学生である
7. その他( )

問 20-5 定期的に教育・保育の事業を利用されている方についてうかがいます。

現在、利用している事業で、さらに充実させてほしいサービスはありますか。当てはまる  
番号すべてに○をつけてください。

1. 長時間保育の早朝・夜間の時間延長  
利用したい時間帯 朝( )時( )分～夜( )時( )分
2. 土曜保育の全園実施
3. 日曜・祝日の保育の実施
4. 食育の推進
5. 語学学習、体操教室などのプログラム導入
6. その他( )
7. これ以上は必要ない

問 20で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-6 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけて  
ください。

1. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
2. 近所の人や父母の友人・知人がみている
3. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
4. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
5. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
6. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
7. 子どもがまだ小さいため ( )歳くらいになったら利用しようと考えている
8. その他( )
9. 利用する必要がない(理由として番号を選んでください)
  - ①子どもの教育や発達に影響するため
  - ②子どもの母親か父親が就労等しないで家庭で保育できるため
  - ③その他( )

すべての方にかがいます。

問 21 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。幼稚園や認定こども園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
10. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
11. その他（ ）

問 21-1 教育・保育事業を利用したい場所について、いずれかに○をつけてください。

1. 安曇野市内
2. 他の市町村

問 21 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～11 にも○をつけた方にかがいます。

問 21-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況にかがいます。

問 22 宛名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「キッズパーク」等と呼ばれています）を利用している、または利用したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 利用している
2. 利用していた
3. 利用していない

問 22 で「1. 利用している」または「2. 利用していた」に○をつけた方にかがいます。

問 22-1 おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

- 1 週当たり（ ）回      もしくは      1 か月当たり（ ）回程度

問 23 地域子育て支援拠点事業について、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい  
1 週当たり（ ）回      もしくは      1 か月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
1 週当たり 更に（ ）回      もしくは      1 か月当たり 更に（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 24 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①両親学級、母乳・育児相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②保健センターの情報・相談事業	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④家庭児童相談室・教育相談室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤幼稚園や認定こども園の園庭等の開放	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥母子・子育て相談窓口	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦市発行の子育て支援情報誌 (子育てガイドブック等)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問 25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。  
教育・保育事業とは、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯	( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯	( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問 25 の (1) もしくは (2) で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 25-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他 ( )	

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。(利用されていない方は、問 27 へお進みください。)

問 26 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時～18時」のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問 26 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他 ( )	

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)**

問 27 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 20 で「1」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 28 にお進みください。  
この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかった(お休みした)ことはありますか。

1. あった ---▶ 【問 27-1 へ】	2. なかった ---▶ 【問 28 へ】
------------------------	-----------------------

問 27 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も ( ) 内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。)

1 年間の対処方法	日数	
ア 父親が休んだ	( ) 日	→ 【問 27-2 へ】
イ 母親が休んだ	( ) 日	
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	( ) 日	
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( ) 日	→ 【問 27-5 へ】
オ 病児・病後児の保育を利用した	( ) 日	
カ ベビーシッターを利用した	( ) 日	
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	( ) 日	
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 日	
ケ その他 ( )	( ) 日	

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、病児・緊急対応強化事業の病児・病後児の預かり及びそれに伴う教育・保育施設、自宅等の間の送迎による利用も含まれます。

問 27-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 27-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育事業を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても ( ) 内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい ⇒ ( ) 日間 ---▶【問 27-3 へ】
2. 利用したいとは思わない ----▶【問 27-4 へ】

問 27-3 問 27-2 で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・認定こども園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ( )

問 27-4 問 27-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できる
7. その他 ( )

問 27-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 27-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても ( ) 内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ ( ) 日間 ---▶【問 28 へ】
2. 休んで看することは非常に難しい ---▶【問 27-6 へ】

問 27-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他 ( )

**宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに認定こども園などで一時的に子どもを保育する事業)	( ) 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	( ) 日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	( ) 日
4. 子育て支援ショートステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	( ) 日
5. ベビーシッター	( ) 日
6. その他（ ）	( ) 日
7. 利用していない ---▶ 【問 28-2】へ	

▶ 問 28 で「1. 一時預かり」に○をつけた方にうかがいます。

問 28-1 現在、通常保育時間（8時30分～16時30分）で実施していますが、時間延長しての利用を希望しますか。

1. 希望する 利用希望時間 ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで
2. 現状のままでよい

問 28 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 28-2 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が市内にない
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
8. その他（ ）	

問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお、これらの事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 ( ) 日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	( ) 日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	( ) 日
ウ 不特定の就労	( ) 日
エ その他 ( )	( ) 日
2. 利用する必要はない ---▶ 【問 30 へ】	

▶ 【問 29-1 へ】

問 29 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-1 問 29 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 教育・保育施設で子どもを保育する事業（例：認定こども園・幼稚園等）             |
| 2. 児童厚生施設で子どもを保育する事業（例：児童館等）                     |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ）  |

問 30 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問 30 で「1. あった ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 30-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困 | 3. 特に困難ではない |
|----------|-------------|-------------|

**宛名のお子さんが将来小学校へ就学したときの放課後の過ごし方についてうかがいます。**

問 31 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は「18時まで」のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（音楽教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※1	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ ※3	週（ ）日くらい→ 下校時から（ ）時（ ）分まで
7. ファミリー・サポート・センターの援助	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、毎週水曜日の放課後に小学校でスポーツ・文化芸術活動などに取り組む活動で、保護者の就労の有無に関わらず、登録制により利用できます。

※3 「放課後児童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 32 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は「18時まで」のように24時間制でご記入ください。

※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（音楽教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい→下校時から（ ）時（ ）分まで
7. ファミリー・サポート・センターの援助	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6」に回答

問 31 または問 32 で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 33 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。次の（1）、（2）のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 ( )時( )分から( )時( )分まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 ( )時( )分から( )時( )分まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 34 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 ( )時( )分から( )時( )分まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	



**出産後の支援体制と育児休業や短時間勤務制度などについてうかがいます。**

問 35 宛名のお子さんが生まれてから生後6ヶ月くらいまでに、どのようなサポートが必要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 母親の健康状態の相談               | 2. 赤ちゃんの育児相談      |
| 3. 家事などの支援                  | 4. 赤ちゃんの沐浴などの育児支援 |
| 5. 外出時に同行してもらえる、子育て経験者の支援   | 6. 子育て中の親同士の交流    |
| 7. 子育て経験者から気軽に話を聞ける場所や機会の提供 | 8. 行政からの子育て支援情報   |
| 9. 医療機関などの母子入所等による産後ケア      | 10. 特にない          |
| 11. その他 ( )                 |                   |

問 36 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する( )内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由の番号をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった<br>2. 仕事が忙しかった<br>3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった<br>4. 仕事に戻るのが難しそうだった<br>5. 昇給・昇格などが遅れそうだった<br>6. 収入減となり、経済的に苦しくなる<br>7. 認定こども園などに預けることができた<br>8. 配偶者が育児休業制度を利用した<br>9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった<br>10. 子育てや家事に専念するため退職した<br>11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)<br>12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった<br>13. 育児休業を取得できることを知らなかった<br>14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した<br>15. その他 ( ) |
|--|

問 36-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた<br>2. 育児休業給付のみ知っていた<br>3. 保険料免除のみ知っていた<br>4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

問 36 で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

---▶ 【該当しない方は問 37 へ】

問 36-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

(1) 母親

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した      |                |

(2) 父親

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した      |                |

問 36-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 36-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育施設等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つ に○をつけてください。※年度初めでの保育施設等入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、実際には希望する保育施設等に入所できなかったが、年度初めの入所ができて復帰した場合も「1」を選択してください。

(1) 母親

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 36-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月の時まで取りたかったですか。( ) 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) か月	希望 ( ) 歳 ( ) か月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 ( ) 歳 ( ) か月	希望 ( ) 歳 ( ) か月
----------------------	-----------------

問 36-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。( ) 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

( ) 歳 ( ) か月
--------------

(2) 父親

( ) 歳 ( ) か月
--------------

問 36-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 36-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

①母親

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため       | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )            |                         |

②父親

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため         | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（                 | ）                       |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他（               | ）                         |

②父親

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため   | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため    | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |                           |
| 6. その他（               | ）                         |

問 36-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 36-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |

(2) 父親

- |   |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した                                   |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）             |

問 36-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 36-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- |  |   |
|--|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった               |   |
| 2. 仕事が忙しかった                              |   |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される                     |   |
| 4. 短時間勤務にすると保育施設の入所申請の優先順位が下がる           |   |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した               |   |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |   |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                     |   |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）         |   |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                |   |
| 10. その他（                                 | ） |

